

筑波大附属駒場中学校への防災講演会を行いました（2021/3/19）

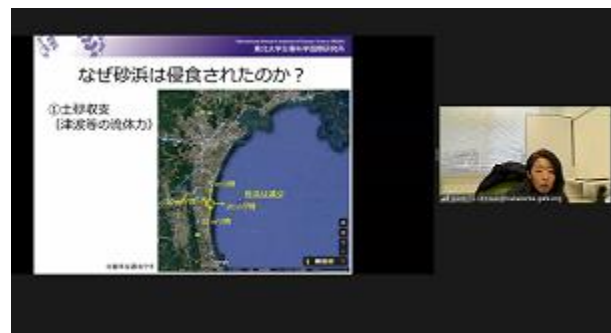
テーマ：情報発信、防災・減災、環境
場 所：オンライン

2021年3月19日（金）10-12時に、筑波大学附属駒場中学校約120名の中学生へのオンライン防災講演会を行いました。中学生は講演会の前に、宮城県の震災復興について学び、石巻市の3.11みらいサポートの語り部によるオンライン講話などを行いました。当研究所からは災害リスク研究部門の教員2名による講演を行いました。サッパシー・アナワット准教授（津波工学研究分野）からは“津波に強くなるために知って欲しいこと”、地震性・非地震性津波の発生メカニズム、津波の再現期間、津波の物理的な性質、津波による被害、津波防災対策等について講演しました。有働恵子准教授（環境変動リスク研究分野）は“沿岸域の災害リスクと2011年津波による海岸地形変化”と題して、沿岸域における様々な災害ハザードとそれに対するこれまでの海岸管理、津波による海岸地形変化、そして将来の沿岸災害リスクの変化について講演しました。参加した中学生からは、アウターライズ地震、地滑り津波、防潮林による減災効果、複合災害・コロナ禍による避難、高潮の発生・対策、防潮堤建設のトレードオフ等、チャット機能などを有効に利用して、様々な質問を受けました。

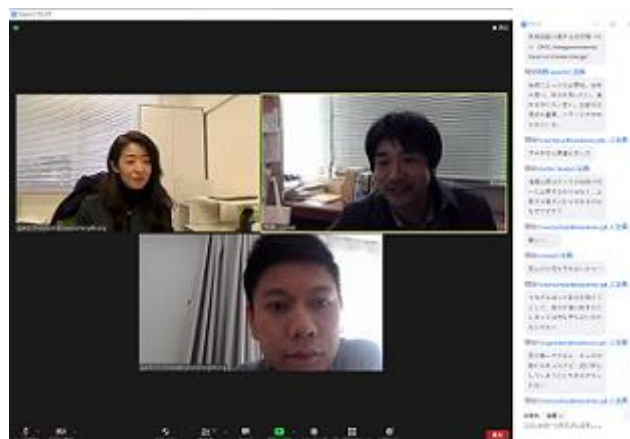
今後の当中学校および当研究所の防災教育プログラムにおいて、有意義な機会となりました。



サッパシー・アナワット 准教授



有働恵子 准教授



チャットによる質疑応答の様子（右上は筑波大学附属駒場中学校の先生）

文責：サッパシー・アナワット、有働恵子（災害リスク研究部門）